

たこ焼き・ディスコンに沸く

集会所で多彩な交流

第5次東北支援チームの一行10人は7月2日朝、新神戸を出発。仙台の豊齢学園で公演内容の打ち合わせを済ませ、レンタカーで石巻の宿舎へ。

3日は協会チーム（5人）と合流。2班に分かれ女川第一保育所と第四保育所へ。第一では90人もの子どもたちが迎えてくれ、紙トンボやマジック、ペーパーハット作りに大はしゃぎ。第四では子供たちが保育所の歌で歓迎してくれました。

午後は女川小へ。1・2年生38人と一緒に七夕飾りの制作です。「サッカー選手になるぞ」「鉄棒ができますように」。願い事をいっぱい書いた短冊をつるし、飾りをぶらさげ大きな笹飾り2本ができあがりました。「わあ、きれい」。さっそく教室に飾られました。協会のドレミちゃんがタップダンス教室を開き、子どもたちは大喜び。夕方、レンタカーで2時間かけて名取へ移動して一泊。

4日の午前中は協会チーム（5人）、仙台豊齢のお手玉チーム（8人）と合流して名取の閑上小へ。

1・2年生合わせて児童わずか12人。スタッフの数の方が多いという変則公演になりましたが、アンパンマン体操やタップダンス、お手玉、昔遊びを全員で楽しみました。午後は名取が丘児童センターで昔遊び、お手玉、大道芸のメニューで交流。豊齢からヨーヨーのお手玉がプレゼントされ大喜びでした。

5日は女川町に戻り、完成したばかりの復興住宅集会所で料理の交歓会です。神戸から持ち込んだ食材は餃子やたこ焼き・おにぎり60人分。「人は来るかな」。かなり心配しましたが予想を超える60人も集まり集会所は満杯。お母さんたちも料理づくに加わって餃子、たこ焼き、おにぎり作りにわいわいと大忙し。さあ、できたできた。「水餃子は初めてだがうまいねえ」「たこ焼きも、イカナゴもおいしい」。賑やかなランチタイムが続く、デザートのスイカもすぐに売り切れ！。スタッフはおにぎりもたこ焼きも口に入らずでした。

食後はショータイム。増金の大道芸、民謡、マ



復興住宅集会所で楽しい餃子づくり。美味しいよ、と子供たち。

ジック…波多野の三味線で歌も次々に。最後の「花は咲く」では皆しんみり。ウルウルになるお母さんもありました。午後は毎年お世話になっている武石久美子さんの案内で町内見学。新しく設置された献花台で犠牲者の冥福を祈りました。

6日は前日と同じ会場でディスコン大会。円盤を転がし、的に近づけるカーリングに似た遊びです。男性や子供たち30人が参加。初心者ばかりでしたが「面白そう。ぜひやりたい」と人気は上々。親子の試合も組まれ、最後は〈わ〉チームと女川チームが対決。女川が逆転勝ちで「やった。やった！」と興奮気味でした。6日夕、仙台から新幹線で帰途につきました。

第5次チームは6人を公募

第5次チームは5月末をメドに公募。自薦・他薦の中から現役を含む6人を決定。本部理事4人と合わせ計10人のチーム編成となりました。うち5人が初参加。

【第5次チーム】 団長・堺汎（園15） リーダー・古後健一（健18） 総務・海野龍英（食16） 記録・四方久幸（国18） 増金スミ子（福11） 波多野武郎（食16） 橋野美子（一般） 森田富治子（食16） 川毛聡子（生18） 小林健二（生19） 【留守部隊】 南形徹（生14） 大澤貞男（生13） 芦田義和（生15） 内村ナナ子（国18）

【訪問先】 仙台・豊齢学園、女川町役場、女川・第一、第四保育所、女川小、女川・運動公園住宅、献花台、名取・閑上小、名取が丘児童センター。

